

令和6年度第1回大和村議会定例会  
一般質問通告一覧(3月13日 水曜日 開催)

No.	I	市田 実孝	
質問事項			要旨
1.	高齢者の福祉計画について		<p>1) 大和村は福祉計画においては、今後住み慣れた地域での介護のあり方で集落長屋構想も含んだ、地域や利用者から信頼される施設を目指していくとあるが構想はどのような状況か。</p> <p>2) 各集落に、在宅で車椅子利用者は何人おられるか。</p> <p>3) 在宅の車椅子利用者の病院や買い物への移動手段は、どのような支援があるか。</p> <p>4) 在宅介護者・家族の購入する福祉車両の支援は検討していないか。</p> <p>5) 村民の介護予防で、民間企業ハナハナビーチの温泉施設を利用するとあるが具体的にどのような活用を検討しているのか。</p>
2.	集落訪問者のための駐車場の整備		<p>1) 村内集落は道路が狭い状況にあり、路上駐車されると対向車は接触等で通行に不安な状況が多々あるが、集落道路の拡張計画や集落訪問者用の駐車場の整備は検討できないか。</p>

No.	2	勝山 浩平	
質問事項			要旨
	1. 幼児教育「早いほど才能育つ」の導入を!		1) 幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、この時期に質の高い幼児教育が提供されることは極めて重要である。また質の高い教育を提供することは移住定住を促し、人口減少対策にもつながるものと考えるが、幼児期からの教育の充実を図るべきではないか。
	2. 経済情勢を踏まえ奨学金の拡充を!		1) 奨学資金制度の根拠法令は振興基金条例であるが、条例が制定された昭和 61 年当時の国立大学の授業料と比較すると現在は 2 倍以上も高騰している。授業料や入学金の値上げや物価高騰など経済情勢の変化を考慮し、奨学金の引き上げを図るべきではないか。
	3. 不足する住宅問題の対策強化を!		1) 子どもの誕生や成長に伴い家が手狭になり、住み替えを望む子育て世帯や移住希望者が増えているが入居できる住宅が不足している状態が続いている。令和 6 年度には、大金久に木造 1 棟 2 戸と空き家改修 3 戸が計画されており、先日の NPO 法人との連携協定締結や改正後の奄振による交付金を活用した空き家改修事業などの展開により、需要に供給が追いついていない現状打開につながることを期待されるが、今後の各集落の住宅建設計画はどのようになっているか。

No.	3	中井 文忠		
質問事項			要旨	
1. 子ども医療について			1)	非課税家庭の子どもは窓口支払いがない様で助かっています。県が課税世帯の子どもたちの手出しなしと決まったら村でもしてもらえるのか。
2. 集落長屋構想について 全国で32万人の介護人材不足が予測されていますが			1)  2)  3)	介護スタッフの確保が大切と思われるが、スタッフの確保はどのようにするのか。  福祉センターでの事業はどうなるのか。両方でのかけもちですか。  急傾斜地になってないのか。何年もかけて準備してきたと思うのですが、急傾斜地での事業を計画することは、いかがなものかと思うのですが。

No.	4	蔵 正
質 問 事 項		要 旨
1. 「果樹の村」ってどんな村？	<p>1) 大和村は果樹の村だと誰もがイメージできるような具体的な「果樹の村構想」を練るべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すももロードの整備とか</li> <li>・ 観光・体験農園の整備とか</li> <li>・ アイスやお菓子類の土産物とかなんとか</li> </ul> <p>2) 施政方針に「果樹の村再生には、安定した生産量の確保が必須」とあるが、具体的な構想を立てるべきではないか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産に取り組む人材の把握</li> <li>・ 新植及び再生可能な農地の把握と再生支援</li> <li>・ 奨励地区を設定して人材募集するなど</li> </ul> <p>3) お歳暮時期の贈答品として需要が高く、本村平場地区に栽培条件が適している「津之輝」を本村の新たな奨励品種として普及促進してはどうか？</p>	
2. 温泉施設オープン！村民との関わりや還元策は？	<p>1) 村民への具体的な関わりと還元策はどのようなものがあるのか？</p> <p>2) 企業と地元生産者がタイアップした商品化計画はないのか？</p> <p>3) J Aや一流シェフと共同で取り組んでいる「ディスカバー奄美」の手ごたえは？</p>	
3. 雨の日も子どもと遊べる公園を！	<p>1) 本村での定住を希望する子育て世代からの要望であるが、今後の子ども・子育て・定住促進の観点からも他地域にない雨天でも遊べる公園の整備は図れないか？</p>	

No.	5	前田 清和	
質問事項			要旨
1.	商工業振興の取り組みは		1) 村内の商店は、物価高による仕入の高騰、またエネルギー高騰による光熱費の上昇など、お店を維持するだけでも大変厳しい状況にあります。そこで、村内の商店を今後維持するためにも、光熱費の助成制度等検討していただけないか。
2.	買い物難民（弱者）への対策は		1) 商店のない集落への移動販売、（民間企業）との連携等検討するべきでは。  2) 合同会社ひらとみによる集落移動販売は可能か。
3.	今後の村内における、児童・生徒の確保について		1) 親子留学制度が現在休止しておりますが、今後の再開の見解は。  2) 里親制度の活用を、もっと利用するべきでは。見直す余地が必要では。